

令和3年度入学生 保護者説明会資料



令和3年2月
加西市立北条中学校

加西市北条町北条618番地
Tel 0790-42-6300
Fax 0790-42-5888

学校長あいさつ

～ 新しい時代に対応できる子どもの育成を ～

教育の目的は、将来子どもたちが、「人として豊かに生きていく力」を育成することにあります。生徒の育成過程においては、その成長段階に合わせ「見守り方」や「支え方」が違って当然であり、中学校では、社会で活躍する基盤となる「基礎学力」「基礎体力」「基礎モラル」を定着させることが重要であると捉えています。

これまでは、「真面目に言われたことを確実にこなす社員」は重宝されましたが、子どもたちが生きる近未来の社会では、そのような社員は真っ先に「AI（人工知能）」に職を奪われてしまうでしょう。しかし、機械（AI）は「1」を工夫応用し「10」にも「100」にも発展させることは得意としますが、「0」から「1」をつくり出す力は人に劣ります。これからの教育は、この「創造性」や「コミュニケーション能力」といった「非認知の力」を駆使し、「マニュアル」にないことにも即座に対応できる人材を育成することが求められているのではないのでしょうか。

そのためには、子どもから「考える力」を奪ってはいけません。子どもの「考える力」はこの時期に無限大に伸びると言います。

- ・子どもが「ミス」することを恐れ、先に手をさしのべていませんか？
- ・子どものした「ミス」をごまかす手伝いをしていませんか？
- ・子どもが「楽しむこと」に手を貸していませんか？
- ・「子育て」において、保護者の都合が優先されていませんか？

子どもが「ミス」をして傷つくことは、避けたいところでありますし、できるなら「ミス」を帳消しにしてやりたい、苦労はさせたくない、と願うのは親として当然の思いです。しかし、それらの行為は、子どもから「考える力」を奪い、将来「AI」に職を奪われる子どもを育成していると自覚しなければなりません。

教師であろうと保護者であろうと、我々大人は、子どもたちに「ミス」を恐れず様々なことに挑戦させ、時には、あえて突き放し苦労させる中で「自ら考え、工夫し、行動していく」姿勢、すなわち「トライ&エラー」の姿勢の育成を目指しながらも、その過程において「大きく傷つくこと」や「立ち上がれないほどのミス」をしないように、子どもたちの言動を見守り、支え、声かけを行うことが重要であると考えます。

私は、このような思いで「学校経営」を進めていきますので、ご理解をいただき、ご支援・ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

加西市立北条中学校長 山田 明

(日 程)

※ 今年度は、新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言が発令されているため、開催を見送ります。つきましては、資料配付に替えさせていただきますのでご承知ください。

目次

・学校運営の概要	1
・学習面について	2
・生活面について	4
・健康面について	9
(健康な学校生活を送るために)	
・入学準備について	10
・入学式について	11

令和2年度 学校運営の概要

教育の目的：人として豊かに生きていく力の育成

学校は「学びの場」であり、その「学び」は将来に役立つものでなければならない！

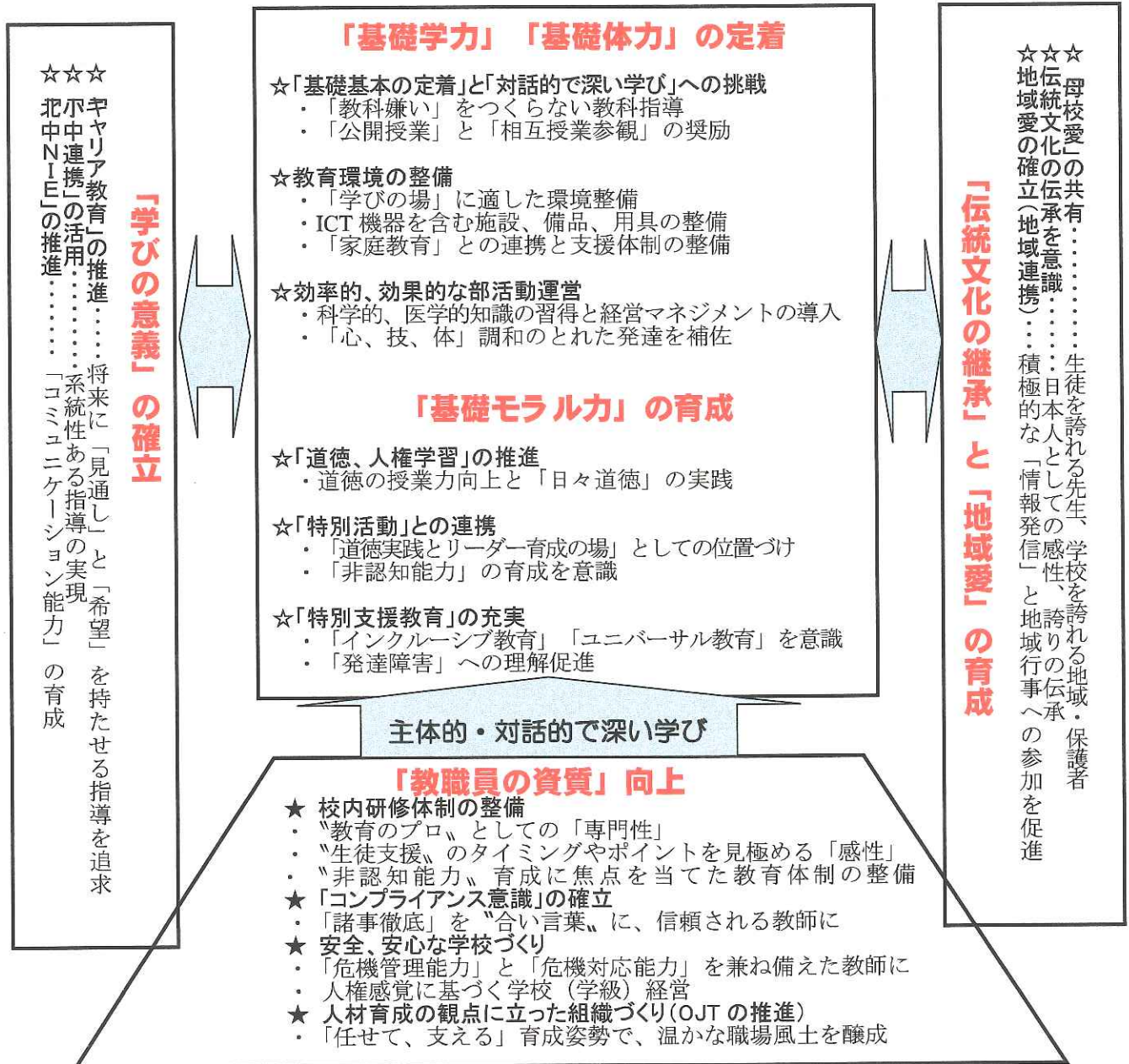
進路選択を支援

教育目標：澁刺・純情・夢ありの精神を持つ生徒づくり

～「基礎学力」「基礎体力」「基礎モラル力(非認知能力)」の定着を目指して～

経営方針：“教学一如”の精神で「個」を支え、「集団」を導く教育の推進

“もうひと手間、かける教育姿勢で



【学習面について】

(1) 指導方針(本校の努力事項)

学習規律の確立と主体的に学ぶ姿勢の育成

- 学習規律 チャイム着席、あいさつ、準備物、姿勢 など
- 主体的に学ぶ姿勢 教科嫌いをなくす授業づくり
達成感や充実感を味わえる授業づくり

(2) 中学校の学習について(小学校の勉強との違い)

- ①教科担任制 教科毎に教師が変わる (専門性の高い教科の授業)
- ②教科 英語は、小学校での週1～2時間から週4時間になります
「算数」→「数学」、「図工」→「美術」、「家庭科」→「技術家庭科」
「体育」は、男女別になります
- ③学習姿勢 意欲をもって、「学び」に向かう気持ちをしっかり整えることが何より大事
- ④新学習システム (少人数授業もしくは同室複数授業)
【主な目的】 基礎基本の徹底、個に応じたきめ細やかな学習指導
自ら学ぶ姿勢の育成 等

⑤ 将来を見据えた進路指導

中学校3年間を通して、自分の適性を知り、将来を見据えた進路を考えることが必要になってきます。

「今の子ども達が職業を選ぶおよそ10年後、今ある職業の半数近くはAIに奪われる。」
と考えられています。 高校選び、職業選びが進路指導ではありません。

(3) 勉強の仕方について

- ①授業の準備を完璧にする。(宿題忘れや忘れ物は絶対にしない強い覚悟)
- ②「分からない」をそのままにせず、分かるところまで戻って考え直すことが必要です。
- ③家庭学習では、場所と時間を決め机に向かう時間を確保する。ながら勉強は絶対にダメです。
※小学校入学時に配られた「家庭学習ハンドブック」なども参考にしてください。

【学びに向かう意欲を上げるために家庭でできること】

- 1 親が学ぶ姿勢を見せる
- 2 勉強をする部屋の環境整備
- 3 無理のない学習計画を立てる
- 4 「分からない」を理解してあげる
- 5 子どもの安全地帯になる
- 6 しっかり褒めて喜びを共有する

(4)年間授業時数

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	道徳	学活	総合	合計
1年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	1015
2年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	1015
3年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015

(年間授業時数についての補足)

- ・年間 35 週として計算しています。(例：「105」・・・週あたり 3 時間×35 週)
- ・授業の 1 時間は、原則として 50 分です。
- ・教科は教科担任が、道徳・学活(学級活動)は、主に学級担任が指導します。
- ・「総合」とは、正式には「総合的な学習の時間」のことで、本校では主に非認知能力の育成のために、年間を通して計画的に授業が組まれます。

(5)テストについて

- ①定期テスト： 各学期に「中間テスト」、「期末テスト」を行います。ただし、3 学期は 1、2 年生は期末テストのみです。
- ②課題テスト： 長期休業(夏季休業・冬季休業・春季休業)後に行います。
- ③単元テスト： 教科によって単元のまとまりを学習後に行います。

(6)成績(評価・評定)について

- ◆令和 3 年度より、新学習指導要領に則って新たな方式に変わります。(8)にも補足
- ①評価・・・「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の 3 観点で、「A」「B」「C」の 3 段階で行います。
- ②評定・・・①の評価を基にして、「1」～「5」の 5 段階で行います。
- ③テストの点数だけでなく、日頃の授業等(生徒の学習の過程)での取組を様々な場面や方法で評価します。
- ④「評価=成績」とだけ狭義に捉えるのではなく、生徒が自身の学習への取組状況の改善につながったり、自分に身についた力を実感したりできることを目的に行います。
- ⑤学期毎に「通信簿」で通知します。(通信簿では、学習状況だけでなく、行動の様子や出欠状況等も合わせて表記しています。)

(7)協力をお願いしたいこと

- ①家庭学習の習慣づけ(宿題、予習、復習)を、是非早い段階で確立させてやってください。
- ②勉強と部活動の両立こそが、充実した中学校生活の鍵です。
- ③持ち物には必ず名前を記入させてください。自分で管理、自分で準備整理することが原則です。
- ④学習に関係の無い不要物を学校に持ち込まないでください。
- ⑤課題等の確実な提出が当たり前を感じるよう、心掛けさせてください。

(8)新学習指導要領がスタートします

小学校では今年度から、中学校では令和 3 年度から新しい学習指導要領での学習が始まります。これまで以上に「生きる力」の育成が強調され、「何(内容)を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」、「それを学ぶことで何を身につけさせるのか」が一層明確になりました。

【生活面について】

(1) 指導方針

校訓「自主協同」の精神に基づき、自主性ある生徒を育成し、規律ある心のかよいあう学校生活の確立を図る。

(2) 中学校が目標としていること

- ① 社会生活の基本を身につけさせる
 - ・ルール（学校の決まり・交通ルールなど）を守る
 - ・マナー（交通マナー・あいさつをする・時間を守るなど）を意識する
 - ・モラル（よりよい友人関係など）を考える
- ② よりよい集団をつくる
 - ・誰もが安心して気持ちよく過ごせる学級づくり
 - ・生徒が主体的に取り組む学校行事の推進
 - ・お互いに関わり合い、よりよい学校生活を考えられる集団
- ③ 個性を尊重し、個に応じた指導を展開する
 - ・生活（自主）ノート等を通して、生徒を理解する
 - ・保護者との連携を大切にする
 - ・スクールカウンセラーとの連携を図る

(3) 充実した中学校生活を送るために

- ① 規則正しい生活を心がけて下さい。（起床・朝食、帰宅、就寝時刻等）
- ② 欠席、遅刻は、学校へ保護者が電話で連絡をして下さい。（7:30～7:55）
- ③ やむなく遅刻・早退をする場合は、原則、保護者の送迎をお願いします。
- ④ 登下校の際は、「北条中学校自転車通学安全規則」を守り、安全に登下校できるようご協力ををお願いします。
 - ※ 別紙「北条中学校自転車通学安全規則」参照してください。
- ⑤ 携帯電話やパソコンは、必ず保護者の監督責任の下で使用させて下さい。年々、メールやネットのトラブルが増加していますが、学校での指導が困難です。
 - ※ 別紙「インターネットトラブルから子どもを守るために」を是非ご覧ください。
- ⑥ 保護者同伴以外の外泊は禁止しています。友達の家での外泊は絶対させないで下さい。問題行動のきっかけとなる場合が多いです。

※【依頼事項】

行事等を含め保護者の車での学校への出入りは、原則、西門を利用してください。また、平日の生徒の送迎はやむを得ない場合のみとし、登下校時の校内への進入は生徒の安全確保のため、原則、西門に入って最初のロータリーまでとします。（ケガや体調不良の場合を除く）

(4) 部活動

部活動は、運動や文化的な活動に興味をもち、喜びや楽しさを体得できるよう能力に応じて取り組んでいます。3年間続けていくことによって心身を大きく成長させます。

特に、本校では、主体的な部活動を通して、集団（学年やクラス）の中で活躍できる生徒の育成を目指しています。原則として、いずれかの部に入部するように生徒に勧めています。

◆ ノー部活デーについて

原則として、週あたり2日以上以上の練習を休む日を設定し、平日及び土日等の休業日にそれぞれ1日以上としています。また、練習時間は平日2時間程度、土日等の休業日は3時間程度です。ただし、練習試合では3時間を超えることもあります。

また、公式試合が近づいた時期には、一定期間を部活動強化月間とキめて、ノー部活デーを変更することがあります。定期試験前（中）や長期休業中にもノー部活デーが設定されま

文 化 部	運 動 部
○吹奏楽部 ○美術部	○野球部 ○サッカー部 ○剣道部 ○陸上競技部 ○男子バレーボール部 ○女子バレーボール部 ○男子バスケットボール部 ○女子バスケットボール部 ○男子ソフトテニス部 ○女子ソフトテニス部 ○ソフトボール部（女子のみ）

(5) 日課表 (※現行の日課表です。令和3年度は変更の可能性もあります。)

8 : 1 0	予鈴
8 : 1 5 ~ 8 : 3 5	朝の会・朝の読書、全校集会・学年集会
8 : 4 0 ~ 1 2 : 3 0	1 ~ 4 校時（5 0分授業、業間1 0分）
1 2 : 3 0 ~ 1 3 : 1 5	給食・休憩
1 3 : 2 0 ~ 1 5 : 1 0	5 ~ 6 校時（5 0分授業、業間1 0分）
1 5 : 2 0 ~ 1 5 : 5 5	清掃・終わりの会
1 6 : 0 0 ~	部活動

【最終下校時刻】

4 月 ~ 7 月終業式	1 8 : 0 0
9 月始業式~市新人大会(10月)	1 7 : 4 5
市新人大会后~1 0月末	1 7 : 1 5
1 1月1 日~1 2月終業式	1 7 : 0 0
1 月始業式~1 月末	1 7 : 1 5
2 月1 日~2 月末	1 7 : 3 0
3 月~卒業式	1 7 : 4 5
卒業式 ~ 3 月	1 8 : 0 0

※天候等により、臨時変更あり

(6) 自転車規定

- ① 購入時の型（純正）を基本とする。部品交換等による改造をしない。
 - ② 付属品は、ライト、ベル、反射板、荷台、カギ、スタンド、とし、その他の装飾品はつけない。
※原則、両立スタンド（引き起こし式）
 - ③ サドルの高さやブレーキの効きが安全に運転できるよう調節されている。
- ※ 以上の①～③の規定が満たされた自転車にのみ、下記の鑑札（許可証）を4月の自転車点検で発行します。鑑札は自転車後部の見やすいところに貼付します。



（令和3年度1年生は緑色のシール）

（1組1番の例）

- ※ 購入時に自転車の防犯登録（必ず）及び、TSマーク付帯保険への加入を奨励しています。
- ※ 荷物は出来るだけ後ろの荷台にくくり、前のかごには重い荷物は入れない。
- ※ 自転車に乗る場合には、必ずヘルメットを着用し、交通ルール・マナーを遵守する。

頭髪についてのきまり

加西市4中学校
加西市4中学校生徒会

『中学生活に適した髪型にしよう』

1. 勉強や運動の妨げにならない髪型
2. 清潔な髪型

- | | |
|-------------|---|
| ○ 男女共通----- | ・ 各種の変形（染色・脱色・パーマ・剃り込み他）をしない。
・ 整髪料は使用しない。 |
| ○ 男子----- | ・ 前は眉がかくれない、横は耳にかからない、後ろは襟にかからないようにする。 |
| ○ 女子----- | ・ 前は眉がかくれないようにし、後髪の長さはわきまでとする。
ただし、肩よりも長くなればゴムでくくる。
（2カ所まで）
・ くくる時はゴム（黒・紺・茶）を使用し、ヘアピンや飾りはつけない。 |

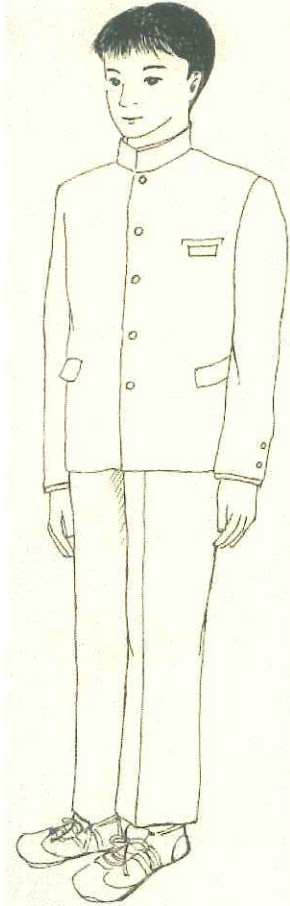
付 則

- (1) 学校によっては、体育の授業等学校生活に支障がある場合、制限を設ける場合がある。
- (2) このきまりは、必要に応じ生徒会代表の引き継ぎ時期（1月）に、4中学校教員代表および新旧生徒会代表が集まり、きまり（改廃を含む）を検討する。
（平成27年1月改訂）

加西市立北条中学校制服規定

<男子> 黒色標準型学生服(標準マーク付)

<女子> 紺色標準型セーラー服(本校指定)



- ・学生服の下はカッターシャツを着用
- ・名札を必ずつける
- ・裏ボタンは黒とする
- ・形は自然なストレート
- ・ノータックまたはワンタック
- ・ベルト(黒色学生用ベルト)を必ずつける
- ・靴下は白(ワソポイント可)
- ・靴は白



- ・白線3本(手首も)
- ・胸あてをする
- ・名札を必ずつける
- ・黒のネクタイ
- ・ひだ数は24本~30本(膝が見えない長さ)
- ・ベージュのストッキングは着用可
- ・靴下は白(ワソポイント可)
- ・靴は白

留意事項

- ・男女とも、身の丈に合った制服を着用すること。
- ・夏季は、男女とも角襟カッターシャツか開襟シャツとする。
- ・男子は学生服の下はカッターシャツを着用。
※長袖、長ズボンジャージは着用しない。
- ・冬期、制服の下にセーター(黒・白・茶・グレー)は着用してもよい。
※ハイネック・トレーナーは着用しない。
- ・靴は白の通学用運動靴。
※テニスシューズ、デッキシューズ等は不可。
- ・ウインドブレーカーは学校指定のものに限る。
着用期間：11月~3月(なお、11月~2月は着用義務あり)

※問題を避けるため、できるだけ市内の業者でのご購入をおすすめします。



※標準学生服認証マーク
(標準マーク)

【健康な学校生活を送るために】

(1)コンディションの維持をする

中学校生活では、自分で考え・判断し・行動する「自立」が、これまで以上に求められます。入学当初は、慣れない環境下での生活時間が長くなり、おのずと生活リズムの変化を余儀なくされ、心身の疲れを感じやすくなります。しかし、この時期こそ「基本的な生活習慣」を大切に考えないと、心身のリズムが崩れ、学習面・生活面に影響が出るとともに、意欲が出なかったり、感情のコントロールができなかったり、精神面での影響も出てくるものです。

そのため、学校での学習や運動効果をあげるには、「決まった時間に寝る」「決まった時間に起きる」「決まった時間に学習する」「朝食を食べる」等の「基本的な生活習慣」を定着させる事が重要であり、そのことが、落ち着きのある安定した生活につながり、心身のバランスの良い成長を可能にします。

(2)モチベーションを高める

思春期にある中学生の時期は、心身ともに「子ども」から「大人」への移行期であり、「自立」に向けての第一歩を踏み出すとても重要な時期だと言えます。第二次性徴の発現で身体の急激な変化が始まり、それに伴うホルモンバランスの乱れにより、心理的に不安定になってくるのもこの時期です。自我意識が強まり、「自分は、一体何ものであるか、自分は何をしようとしているのか」と、自分らしさを見いだそうと探求していきます。そのため、それまで素直に受け入れてきた親や身近な大人の言動に対しても、反抗的になります。また、大人から距離を置こうとする一方で、友人とより親密な交友関係を作ろうとしていき、時には「コミュニケーション力不足」から、悩んでしまうケースも出てきます。

このような時期（思春期）は、側にいる親や大人にとっても子どもへの対応が難しい時期であるの言うまでもありませんが、当の子どもたちにとっても、不安で大変であり、なおかつ大切な時期でもあります。それゆえに「キレやすさ」「扱いにくさ」に手を焼くことも多々ありますが、子どもたちは、大人への入り口に立ったばかりであり、どんなに親を遠ざけようとしていても、まだまだ親なしでは生きていけない年代です。子どもの心の葛藤を認め、言い分を忍耐強く聞いてやりつつ「ダメなことはダメ」という毅然とした態度を失わないことが大切です。親は見守る姿勢を基本としつつも、方向性を見失わないようにサポートしてやる必要があるではないでしょうか。

(3)その他

- ①保健調査表…………… 緊急連絡先をもれなく記入し提出してください。（入学時に配布）
- ②生活管理表…………… 生活管理が必要な生徒（心臓疾患、腎臓疾患等）は 入学と同時に管理表を担任に提出してください。
- ③アレルギー管理表… アナフィラキシー既往者・エピペン保有者・詳しい成分表を希望する者・鶏卵除去食を希望する者は、入学と同時にアレルギー管理表を提出してください。
- ④保健室休養…………… 家庭で様子を見て欲しい場合、頻回に来室する場合、赤の用紙を持って帰ります。帰宅後の様子を記入し、登校した日に持たせてください。
- ⑤カウンセリング… スクールカウンセラーが週1回来校します。お子さんの事で気にかかることなど、気軽にご相談してください。（予約制）

【入学準備について】

(1) 新入生授業体験

- ・ **令和3年3月12日(金) 11:00** 集合【予定】※緊急事態宣言の状況によります
- ・ 中学校で2時間分の授業を受け、給食・学活等を行う予定です。

(2) 準備物

入学時まで、家庭で用意していただきたいもの

- ① 制服…P8「加西市立北条中学校制服規定」にそったもの
- ② 自転車…自転車規定に適合するもの
※ヘルメット、荷台にくくるゴム、スタンド(引き起こし式)、カップ(上・下)
徒歩通学の生徒は傘(黒か紺の無地、地味な色のものを持たせてください)

入学時まで、学校で一括販売するもの(本校指定)

- ① 通学用カバン
- ② セカンドバッグ
- ③ 体操服
 - ◎ 長袖上下 体操服(名前の刺繍入り)
 - ◎ 半袖上下 体操服(名前の刺繍入り)※他から譲り受ける場合、本人の名前の刺繍を入れてください。
- ④ 体育館シューズ(シューズ入れ含)
- ⑤ 体操帽
- ⑥ スリッパ…新入生は緑色

※ 上記の物品販売 **令和3年3月21日(日) 14:00~16:00**
武道館玄関前の通路で販売します。どうしても日程が難しい場合は、取り扱い店(平和堂スポーツ: 42-5331)にご相談ください。

入学後に、学校で配付・販売するもの

- ① 教科書 …入学式の日配付(入学式当日は、通学カバンが必要です)
- ② 名札、生徒手帳 …入学式の日配付
- ③ ヘルメットは小学校の時のもので可(校章シールは、なし)
- ④ ウインドブレーカー …10月頃に購入予定
- ⑤ その他(副教材等、入学後に案内)

※ ウインドブレーカーは、通学および学校行事で全員が必要になります

【入学式について】

(1) 日 時 令和3年4月8日(木) 午前10時 開式

(2) 場 所 加西市立北条中学校 体育館

(3) その他

◇ 新入学生徒は9時20分までに登校させてください。

・生徒の服装……学生服(男)、セーラー服(女)

・持ち物……通学カバン(大きい方)、スリッパ、筆記用具

※新入生は、原則「徒歩」で登校させてください。(自転車×)

自転車通学の実施は、「自転車通学許可誓約書」を提出後、地区生徒会

(9日の予定)で通学路及び、危険箇所等の確認を行ってから許可します。

◇ クラス編成表は玄関前に掲示します。→生徒は確認後、各教室へ

◇ 保護者の皆さまは、9時45分までに体育館へお入りください。

◇ 駐車場は、校庭内駐車場、バレー・バスケットコート(雨天時は使えません)のみです。スペースに限りがありますので、できるだけ乗り合わせでお越しください。

※行事等での保護者の車での学校への出入りは、原則、西門を利用してください。

東門(五百羅漢側)は、帰りのみ開放します。



保護者の皆様へ

お子様の中学校入学にあたり、様々な点で不安に思われることがあるかもしれません。しかし、一方で成長が楽しみな部分もあるのではないのでしょうか。かつて、あるお父さんが「ウチの子は何の取り柄もないんです」と言って入学してきた生徒が、部活動に打ち込みメキメキと力を付けたことで、競技を続けるために誰もが羨む有名大学、憧れの実業団チームに進み活躍しました。選手として区切りを付けた後は、新たな自分の夢を見つけ力強く生活しています。

思春期を迎え、社会や環境変化の影響を受けやすい時期です。行動範囲も広くなり、様々な刺激を受ける機会も確実に増えます。自主性や自律性が高まり、様々なことを自己決定し行動していきます。ただ、それを上手くコントロールしてやるのが周りの大人の大切な役割です。学校では教職員が、ご家庭では保護者の皆さんがその役目を果たさなくてはなりません。

社会はこれからさらに複雑に変化し、子ども達は、我々大人が経験したことのない壁や課題に立ち向かわなければなりません。大切なことは、将来を見据え、じっくりと将来必要となる力(資質・能力)をつけてやることに他なりません。

北条中学校では、『澆刺・純情・夢ありの精神をもつ生徒づくり～基礎学力・基礎体力・基礎モラル力(非認知能力)の定着～』を学校教育目標に掲げ、生徒の将来に役立つ「学びの場」「学びの機会」を確保し、機を逃さずに教職員一丸となって指導にあたっています。これからも、恵まれた学校環境や落ちついた学校の雰囲気にも満足することなく、生徒達が生涯を豊かに、そして幸せに生きていくための力をしっかりと身につけられるよう尽力していきます。どうか学校を信頼していただき、お互いに連携した支援・指導ができますようご理解ご協力をお願いします。